

林業普及指導員の「木材利用推進」情報

■北海道（総合）振興局森林室に勤務する林業普及指導員からの情報です

「木質バイオマスエネルギーが生み出す地域の雇用」講演会を開催

渡島総合振興局西部森林室普及課

【取組の背景・目的】

渡島西部管内の主要樹種であるスギ人工林は、良質材生産に向けて間伐施業を進めているものの、スギ価格の低迷や高い生産コストなどによる採算性悪化により搬出間伐が進まず、多くの間伐材は伐り捨てられている現状にあります。

このことから、間伐材の有効利用に向け、施業の集約化による低コスト化への取組と併せて、林地未利用材の有効活用を促進する必要があります。

このため、地域材の利用拡大や、間伐等で発生する林地未利用材をエネルギー利用するとともに、地域の雇用拡大につなげるため、今年度、知内町等と連携し「木質バイオマスエネルギーが生み出す地域の雇用」をテーマに講演会を開催したので紹介します。

【講演会の内容】

開催日：平成25年11月14日（木）

開催場所：知内町中央公民館

主催：北海道林業・木材産業対策協議会
渡島総合振興局西部森林室

共催：知内町

参加者：一般住民、市町村、森林組合、林業関係者、木材産業関係者、建設関係者
町議会議員、道関係者等 105名

内容：

■知内町における地域材利用の取組紹介

○説明者：知内町産業振興課 三原林政係長

○内容

- ・知内町産のスギを利用した木造公共施設「町民プール・子ども交流センター」の建設と同施設内における木質バイオマスエネルギーの熱源供給について概要説明。
- ・「町民プール・子ども交流センターの概要」
施設面積1,253㎡、地域材約236㎡使用、木質チップボイラー300kw級、平成26年8月完成予定。

■講演

○テーマ

「木質バイオマスエネルギーが生み出す地域の雇用」

○講師

株式会社NERC

代表取締役 大友 詔雄 氏

○内容

- ・これからのエネルギー資源を踏まえた木質バイオマスのエネルギー利用への可能性と資源量及び地域の雇用拡大や課題について講演。



大友代表取締役

【取組の成果】

- ・講演会では、参加者から道内における木質バイオマスの利用事例・ボイラーの性能について活発な質問・意見があり、地域材の有効利用に対する知識向上につながった。
- ・知内町で行っている地域材利用促進のための住宅助成事業や、木質バイオマスエネルギーの利用で生み出す地域の雇用など、町民一体となって進める地域材利用の意義について意識の醸成を図ることができた。

【今後の取組】

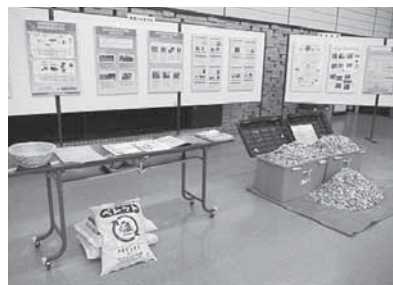
当普及課では、今後も各関係団体や各町等と連携し、道南スギなどを使用した公共木造施設の見学会等のイベントを開催し、地域材の利用促進に向けた普及指導活動を展開します。



主催者挨拶（森林室長）



一般住民が多数参加した講演会



パネル展示による地域材利用のPR